

5). 遊水地計画の検討

● 遊水地エリアの設定

3箇所の遊水地候補地について、遊水地として利用が図れる可能性のあるエリアを以下の観点から抽出する。

遊水地エリア抽出の考え方

- ・ 人家の立地がない地区
(安田嶋地区及び二見地区は効果算出のため、市街化区域及び人家密集地区以外に設定)
- ・ 洪水の水位よりも低い区域
- ・ 現状の治水安全度を低下させない区域
- ・ 市町村の土地利用計画との整合が図れる区域

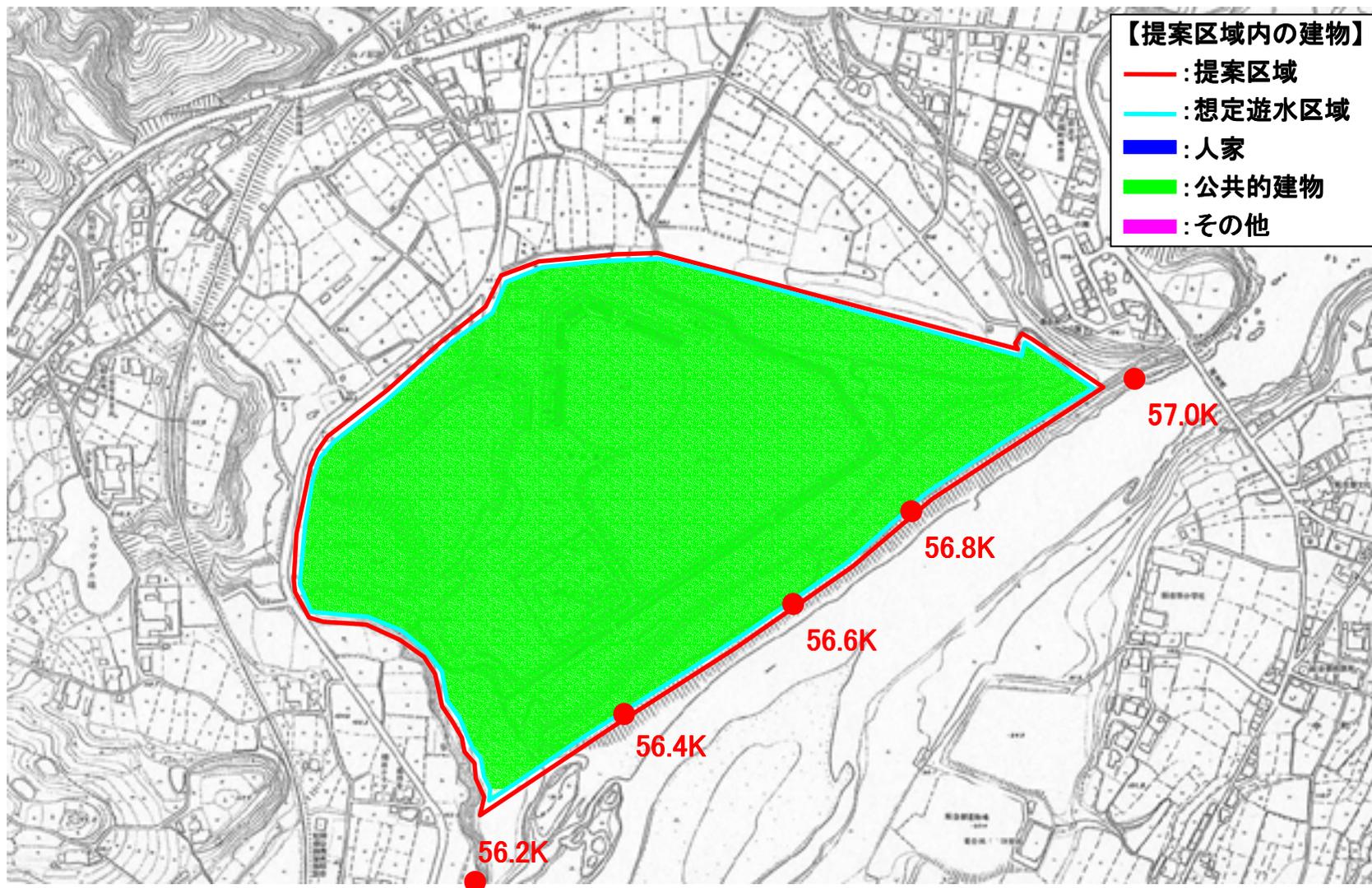
○安田嶋地区

安田嶋地区の遊水地エリアは、以下のとおりとする。



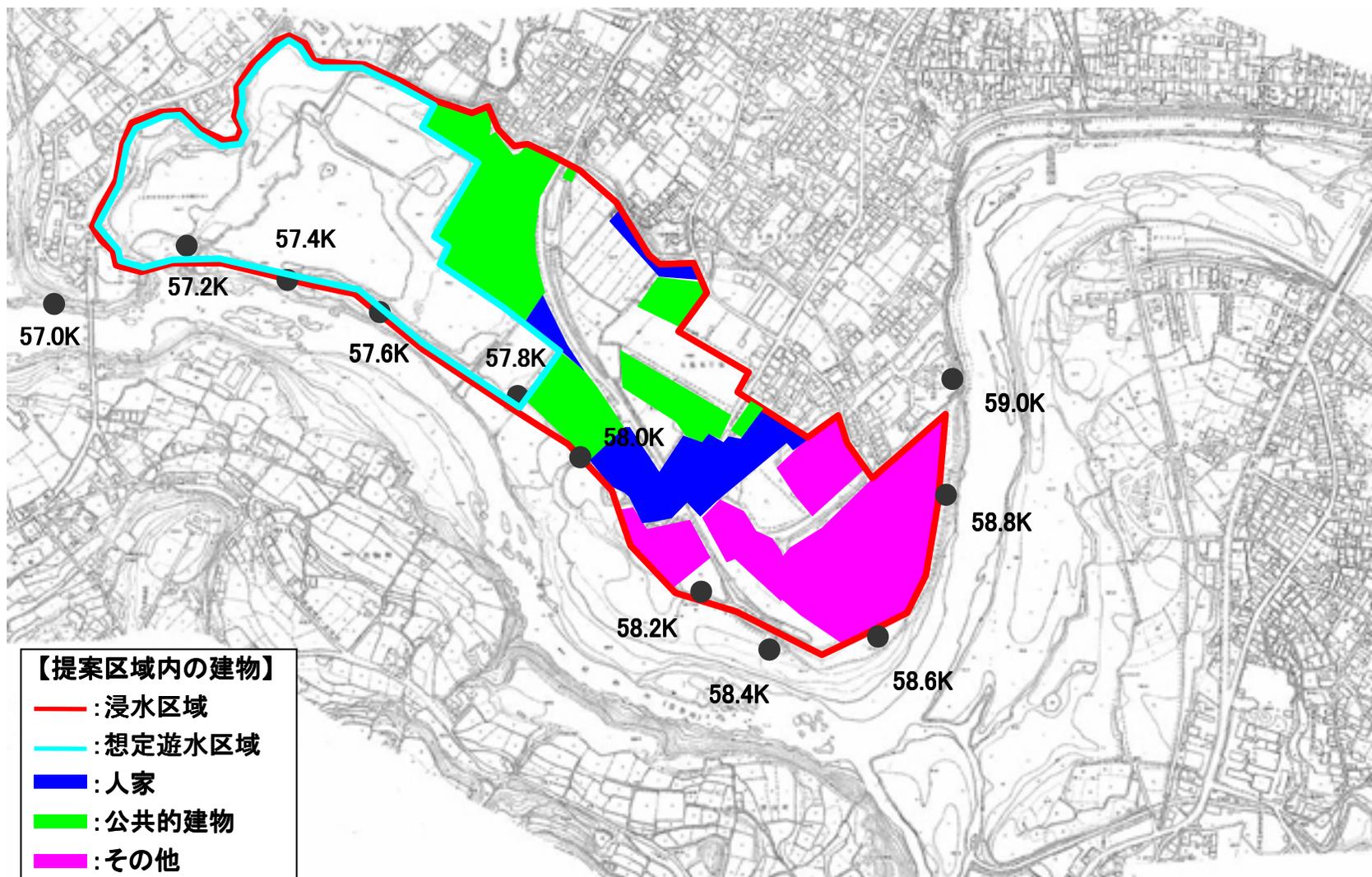
○上野地区

上野地区の遊水地エリア(第10回委員会提案区域:公園のみ)は、以下のとおりとする。



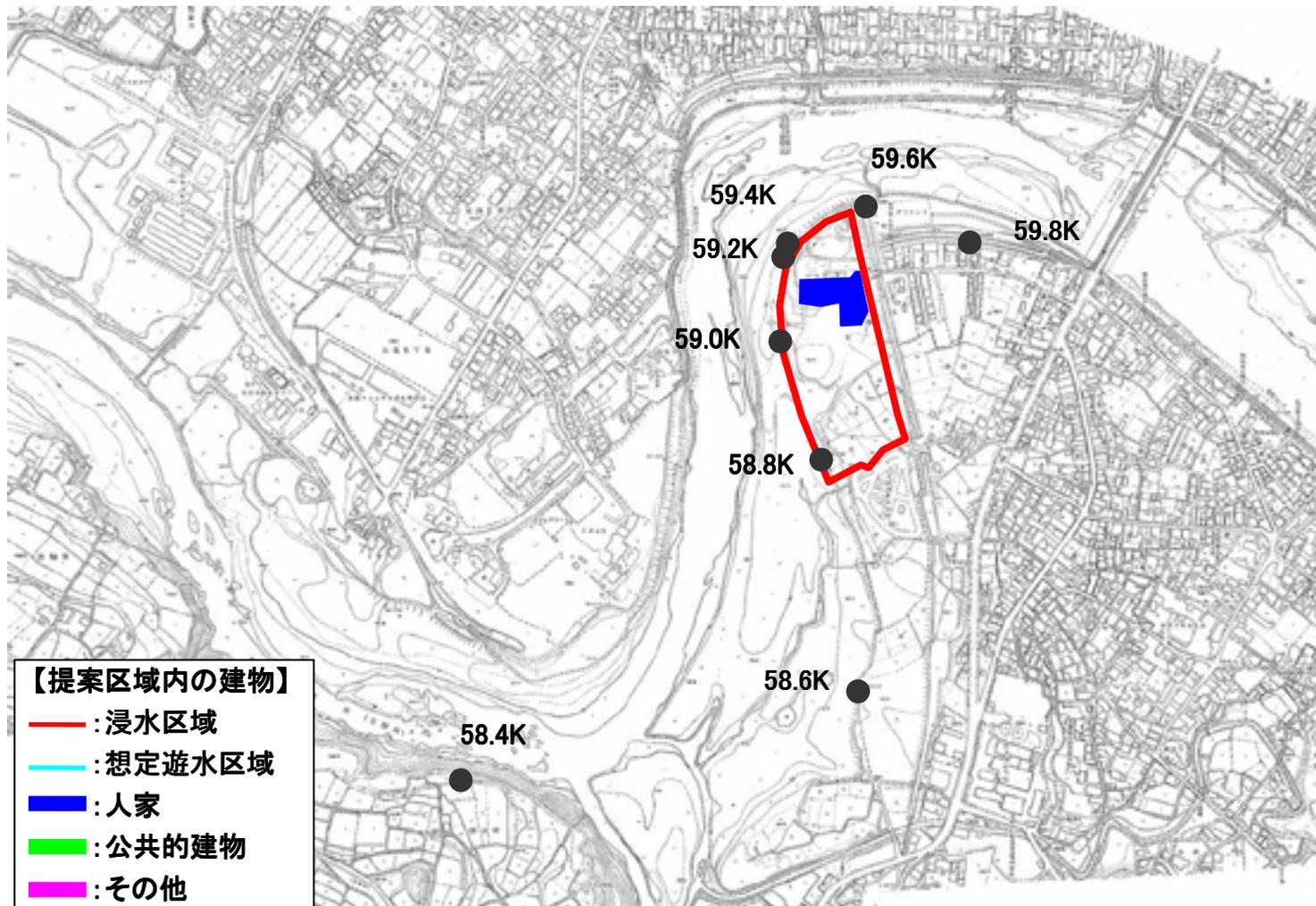
○二見地区

二見地区の遊水地エリアは、以下のとおりとする。



○野原地区

野原地区は、五條市の土地利用計画上、準工業区域の用途区域が定められていることから、遊水地エリアを設けない。



● 氾濫解析手法による効果

○ 上野地区＋安田嶋地区

湛水地を全て貯水できた場合の氾濫解析手法における流出抑制効果は、以下のとおりである。

(昭和34年9月型洪水(伊勢湾×1.0))

単位:m³/s

	岩出	藤崎	小田
不足量	240	1,680	690
S34.9(1.0倍)流出量	6,670	6,290	5,920
S34.9(1.0倍)遊水地後流出量	6,480	6,070	5,690
流出抑制効果	190	220	230

※第12回流域委員会での安田嶋地区の湛水地範囲の設定に誤りがあり、遊水池後流出量及び流出抑制効果の値を訂正しています。

○上野地区＋安田嶋地区＋二見地区

湛水地を全て貯水できた場合の氾濫解析手法における流出抑制効果は、以下のとおりである。

(昭和34年9月型洪水(伊勢湾×1.0))

単位:m³/s

	岩出	藤崎	小田
不足量	240	1,680	690
S34.9(1.0倍)流出量	6,670	6,290	5,920
S34.9(1.0倍)遊水地後流出量	6,430	6,020	5,660
流出抑制効果	240	270	260

●課題の整理

○安田嶋地区における課題

- ・周囲堤が必要(用地買収)
- ・遊水地内の地権者の同意及び補償が必要
- ・家屋移転、地目差補償が必要
- ・病院の対策
- ・樋門及び排水施設の整備

○上野地区における課題

- ・上野公園管理者(五條市)の同意補償が必要
- ・上野公園周辺に周囲堤が必要(用地買収)
- ・公園機能を確保するための整備が必要
- ・公園管理所の対策
- ・樋門及び排水施設の整備

○二見地区における課題

- ・周囲堤が必要(用地買収)
- ・遊水地内の地権者の同意及び補償が必要
- ・家屋移転、地目差補償が必要
- ・樋門及び排水施設の整備